



平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月10日

上場会社名 株式会社 太平製作所
コード番号 6342 URL <http://www.taihei-ss.co.jp>

上場取引所 大 名

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 神谷 慎二

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長

(氏名) 桂山 哲夫

TEL 0568-73-6411

四半期報告書提出予定日 平成24年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	1,072	98.1	48	—	53	—	23	—
24年3月期第1四半期	541	61.1	△144	—	△146	—	△177	—

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 10百万円 (—%) 24年3月期第1四半期 △169百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	1.76	—
24年3月期第1四半期	△13.19	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭	円 銭	
25年3月期第1四半期	6,764	—	3,079	—	45.5	—	229.38	
24年3月期	6,661	—	3,122	—	46.9	—	232.57	

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 3,079百万円 24年3月期 3,122百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	4.00	4.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	0.00	—	4.00	4.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,650	17.7	165	△49.7	175	△45.7	105	△63.8	7.82
通期	5,100	△4.8	285	△55.6	305	△51.8	180	△74.0	13.40

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 有
 - ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料3ページの「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期1Q	15,000,000 株	24年3月期	15,000,000 株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	1,574,354 株	24年3月期	1,574,354 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期1Q	13,425,646 株	24年3月期1Q	13,426,697 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記等	8
(5) セグメント情報	8
(6) 重要な後発事象	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災から1年以上が経過し、最悪期を脱して設備投資の持ち直しの動向が一部の業界で見られ、景気は徐々に回復傾向にあると思われませんが、材料等の不足や円高により景気は先行き不透明な状況のなか推移いたしました。

このような状況のなか、当第1四半期連結累計期間の当社グループといたしましては、営業活動はもとより、合板機械及び木工機械の開発活動や現状の機械の改良・改善に最大限の努力をした結果、売上高は1,072百万円（前年同四半期比98.1%増）となりました。利益につきましては、売上増加に加え、経費削減や原価管理をきめ細かく実施した結果、営業利益は48百万円（前年同四半期は144百万円の営業損失）、経常利益は53百万円（前年同四半期は146百万円の経常損失）、四半期純利益は23百万円（前年同四半期は177百万円の四半期純損失）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①合板機械事業

合板機械事業は、国内・海外ともに受注確保と売上計上に努めた結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は764百万円（前年同四半期比193.0%増）となりました。営業利益につきましては、100百万円（前年同四半期は123百万円の営業損失）となりました。

②木工機械事業

木工機械事業は、営業活動の積極的な展開により受注確保に努力した結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は130百万円（前年同四半期比29.9%増）となりました。しかしながら、材料等の価格が依然として高騰しており、14百万円の営業損失（前年同四半期は7百万円の営業損失）となりました。

③住宅建材事業

住宅建材事業は、住宅建材業界全体に持ち直しの動きが見られるものの、景気の不透明感に伴い依然として新設住宅着工戸数が低水準であることから大変厳しい状況であります。当第1四半期連結累計期間の売上高は177百万円（前年同四半期比1.5%減）となり、売上減少と原材料など的高騰により1百万円の営業損失（前年同四半期は4百万円の営業利益）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて2.5%増加し、4,899百万円となりました。これは主に、現金及び預金が増加、受取手形及び売掛金が102百万円減少、たな卸資産が97百万円増加したことなどによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて0.9%減少し、1,864百万円となりました。これは主に、有形固定資産が8百万円減少、投資その他の資産が6百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて1.6%増加し、6,764百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて5.6%増加し、2,844百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が増加、前受金が141百万円増加、未払法人税等が33百万円減少したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて0.6%減少し、840百万円となりました。これは主に、長期未払金が60百万円の増加、役員退職慰労引当金が56百万円減少、繰延税金負債が4百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて4.1%増加し、3,685百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて1.4%減少し、3,079百万円となりました。これは、利益剰余金が増加、繰上金が増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループを取り巻く事業環境は、景気は少しずつ上向き状態にありますが、設備投資意欲が伸び悩み状態であることや材料等の高騰が今後においても継続することが予想され、先行き不透明な状況です。

住宅着工戸数については、回復の兆しは少しずつ見えてきてはおりますが、いまだ低水準であることから、今後におきましても予断を許さない状況です。

このような状況の中、当社の主力合板機械事業での大型機械は全て受注生産であり、受注から売上に至るまでには、長期間を要することや、得意先の受け入れ態勢が整わないといった要因等もあり、安定した売上を計上することが難しい状況であります。一方、新しい製品の開発や機械の改良・改善にも力を注いでおりますが、著しく差別化された商品力を持つまでには到達していないのが現状です。

当社グループは、このようなリスクを出来るだけなくすように努め、また、営業活動の強化と新しい機械の開発、機械の改良・改善に努力し、安全な稼働が出来るようなバックアップ体制の構築に努めるよう一丸となって取り組んでまいり所存であります。

業績予想につきましては現在のところ平成24年5月14日に開示しました予想より変更等はありません。

なお、連結業績予想につきましては、当社グループが現時点において入手可能な情報に基づいて判断したものであり、今後の様々な要因により、異なる結果となる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

減価償却方法の変更

当社グループは、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,633,608	2,754,239
受取手形及び売掛金	1,328,398	1,225,973
製品	31,688	137,562
仕掛品	548,215	531,529
原材料及び貯蔵品	178,669	186,822
その他	68,391	75,966
貸倒引当金	△9,742	△12,239
流動資産合計	4,779,229	4,899,854
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	726,485	731,940
土地	689,746	689,746
その他（純額）	88,963	75,503
有形固定資産合計	1,505,196	1,497,191
無形固定資産	45,405	42,284
投資その他の資産	331,462	325,393
固定資産合計	1,882,064	1,864,869
資産合計	6,661,294	6,764,724
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,174,369	1,216,932
短期借入金	850,000	850,000
1年内返済予定の長期借入金	200,000	200,000
未払法人税等	57,680	24,175
賞与引当金	66,344	39,333
受注損失引当金	24,796	48,934
その他	320,502	465,617
流動負債合計	2,693,692	2,844,992
固定負債		
長期借入金	400,000	400,000
繰延税金負債	146,441	141,533
退職給付引当金	203,173	202,244
役員退職慰労引当金	67,473	11,104
その他	27,990	85,273
固定負債合計	845,078	840,156
負債合計	3,538,770	3,685,149

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	750,000	750,000
資本剰余金	77,201	77,201
利益剰余金	2,487,046	2,457,099
自己株式	△205,485	△205,485
株主資本合計	3,108,761	3,078,815
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13,761	759
その他の包括利益累計額合計	13,761	759
純資産合計	3,122,523	3,079,575
負債純資産合計	6,661,294	6,764,724

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
売上高	541,364	1,072,287
売上原価	505,344	837,602
売上総利益	36,019	234,684
販売費及び一般管理費	180,493	186,679
営業利益又は営業損失(△)	△144,473	48,005
営業外収益		
受取利息	201	101
受取配当金	1,658	1,883
鉄屑売却収入	298	269
助成金収入	1,805	—
デリバティブ評価益	—	7,422
その他	971	1,239
営業外収益合計	4,935	10,916
営業外費用		
支払利息	4,252	3,578
デリバティブ評価損	30	—
為替差損	3,081	2,211
その他	47	5
営業外費用合計	7,412	5,795
経常利益又は経常損失(△)	△146,950	53,125
特別損失		
固定資産除売却損	234	2,011
投資有価証券評価損	30,576	—
特別損失合計	30,811	2,011
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△177,761	51,114
法人税、住民税及び事業税	284	25,445
法人税等調整額	△890	1,913
法人税等合計	△606	27,358
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△177,154	23,756
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△177,154	23,756

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△177,154	23,756
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	7,622	△13,001
その他の包括利益合計	7,622	△13,001
四半期包括利益	△169,532	10,754
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△169,532	10,754

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			
	合板機械事業	木工機械事業	住宅建材事業	計
売上高				
外部顧客への売上高	260,869	100,442	180,052	541,364
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	260,869	100,442	180,052	541,364
セグメント利益又は損失(△)	△123,359	△7,247	4,184	△126,422

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

損 失	金 額
報告セグメント計	△126,422
セグメント間取引消去	—
全社費用（注）	△18,050
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△144,473

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			
	合板機械事業	木工機械事業	住宅建材事業	計
売上高				
外部顧客への売上高	764,474	130,502	177,310	1,072,287
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	764,474	130,502	177,310	1,072,287
セグメント利益又は損失（△）	100,598	△14,829	△1,530	84,238

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（再調整に関する事項）

(単位：千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	84,238
セグメント間取引消去	—
全社費用（注）	△36,233
四半期連結損益計算書の営業利益	48,005

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。